

令和6年5月

博多港中央航路浚渫整備に伴う航行安全対策調査専門委員会

1 委員会報告書概要

本委員会では、博多港中央航路の水深-12mを確保するために航路法面の崩落等により発生した浅所の浚渫工事施工中における航行船舶及び工事作業船の航行安全対策について調査・検討した。

調査・検討にあたっては、潜水探査作業と浚渫工事の施工計画を基に、自然環境及び海上交通の実態と可航水域の関係などの航行環境を整理し、必要な課題を抽出して安全性の検討を行った。

安全性の検討では、港内の利用状況を確認して潜水探査作業と浚渫工事における作業範囲について検討した。本整備工事における作業範囲は、中央航路の南北の航路法線に沿う航路内の海域である。整備工事施工中は可航幅が減少することから行き会い調整の確認及び作業船の退避が必要な対象船舶を検討し、航路内の作業範囲において工事作業の実施が可能な条件を確認した。

航行安全対策においては、航行船舶及び工事作業船の安全を確保するため、航行船舶の行き会い調整の可否と作業船の退避条件を整理するとともに、安全管理体制の整備を提案した。

2 調査等概要

- (1) 調査概要
- (2) 施工計画
- (3) 航行環境
- (4) 安全性の検討
- (5) 航行安全対策